

南区公害対策課

名古屋市環境白書は、前年度の環境の状況及び環境の保全に関して講じた施策をとりまとめ、11月市会に提出するとともに一般公表しているものです。以下は、瑞穂区に係る事項を中心とりまとめたもので、特に表記がない限りは令和6年度の内容です。
※名古屋市公式ウェブサイトにも掲載されています。

第1部 総論**1 循環経済（サーキュラーエコノミー）への移行に向けて～（1～8ページ）**

- (1) 循環経済とは
- (2) コロナ禍およびその後の本市のごみ処理量
 - ・コロナ禍のごみ処理量について
 - ・コロナ禍後のごみ処理量について
- (3) 循環経済に関わる国の動向と本市に求められる役割
 - ・循環経済に関わる国の動向
 - ・本市に求められる役割
- (4) 持続可能な循環型都市を目指した本市の取り組み
 - ・プラスチックの資源循環
 - ・食品ロスの削減
 - ・民間事業者と連携したリユース事業

2 令和6年度の重点取り組み（25～28ページ）

- ① SDGsの多面的な考え方の浸透と、主体的に行動する人や事業者のネットワークの拡大
- ② 環境にもやさしく災害にも強い、快適で安心な暮らしの実現
- ③ 自然や水を活かした、人と生きものにやさしいまちづくり
- ④ 環境と経済の好循環を生み出す仕組みづくり

第2部 各論

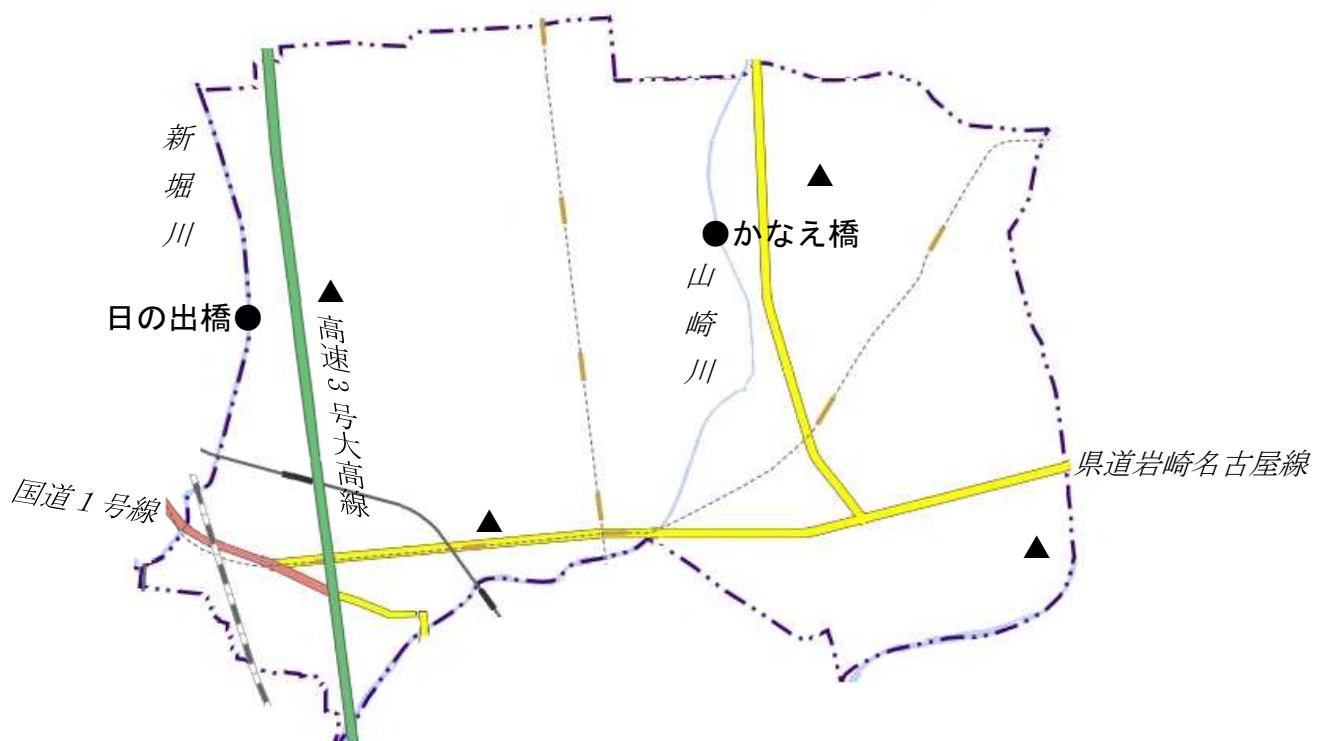
<第1章>

1 地域における環境教育（29ページ）

事業内容	実施時期
SDGsの啓発事業（愛知の伝統野菜の種配布等）	4月、9月
環境デー地域環境イベント（緑のカーテン講習会）	6月
山崎川水辺の生き物観察教室	7月
親子エコ工作教室	8月
区民まつり（子ども向けイベント）	11月

<第2章>

1 環境の状況（瑞穂区）



(1) 水質汚濁 (2 地点●) (10、53~57 ページ)

(2) 環境騒音 (4 地点▲) (60 ページ)

2 公害に関する苦情処理（瑞穂区）(70 ページ)

表 苦情件数の推移

	R6 年度	R5 年度	R4 年度
種類ごとの 総数	6 4 (1, 747)	6 6 (1, 792)	7 6 (1, 829)
対象工場等 の数	4 8 (1, 291)	5 0 (1, 319)	5 4 (1, 353)

※ () 内は全市の数値

図 種類別の苦情割合

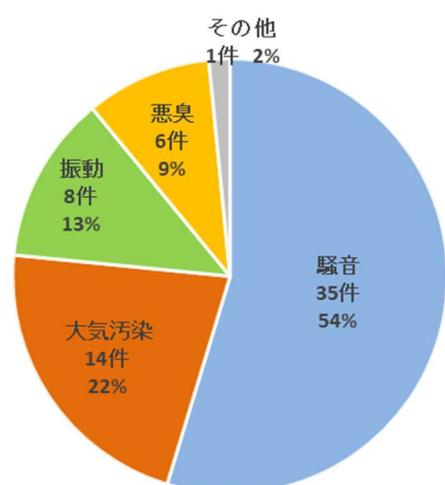


表 学区別の苦情件数

学区	御剣	高田	堀田	穂波	井戸田	瑞穂	豊岡	弥富	中根	陽明	汐路	合計
苦情 件数	3	3	4	5	10	9	2	6	6	3	13	64